

令和6年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A①） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1～3学年		職業・家庭 楽しい職業科 楽しい家庭科 わたしの夢につながる

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aアイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aアイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-B工(ア))	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・トイレ清掃、廊下、教室のほうき、フローリングワイパー、台拭きなどの清掃や整理整頓を実践する。
	9	(知及技) 自立と職業の大切さについて知ることができる。(中1段階-Aア(ア)) (思・判・表) 仕事の種類、様子、必要な技術について知ることができる。(中1段階-Cア) (学・人) これまでの経験や学習したことから将来の職業について考えることができる。(中1段階-ウ)	(知及技) 身の回りのことなど自分で生活するために必要な力について知り、身につけようとしている。 (思・判・表) 職場見学を通して仕事内容や様子について知り、必要な技術について考えようとしている。 (主学) 学習して知った職種やこれまでの経験から将来の職業について考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「自分の将来を考えよう」 子どもから大人になるとは自分の将来について考える 「自立と職業の大切さ」 自立するため、仕事をするために必要な力について。	・教科書を参考に自分でできること、助けてもらってできることについて考える。 ・働く為に必要な力はなにかを考えて、授業内で実践してみる。
1学期	15	(知及技) 作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組むことができる。(中1段階-Aイ㉔) (思判表力) 自分の体調を確認することができる。体調や天気に合わせて服装を調整することができる。(中1段階-Aイ(イ)㉔) (学・人) 挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	(知及技) 土づくり、移植、灌水などの作業内容や手順を理解し、準備、片付けなどに取り組もうとしている。 (思判表力) 自分の体調を口答や行動で伝えようとしている。帽子や上着の着脱で体調管理をしている。作業の合間などこまめに水分補給をしている。体調や天候に応じて帽子や上着の着脱をしている。 (主学) 作業内容を理解し、活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「生物育成」 土作り、移植、定植、灌水、施肥、除草、収穫、作業場の清掃・片付け	・土作り： unnecessary物は取り除き、細かくすることができる。 ・移植・定植：傷つけないように適切な場所に植え付けができるようにする。 ・灌水、施肥：適切な場所に適切な量を散布できるようにする。 ・収穫：収穫に適した大きさなどを見極めることができる。傷つけないように収穫することができる。 ・収穫した野菜を家族に届けることで、達成感を得られるようにする。 ・自主的に作業場の清掃、片付けができるようになる。
	15	(知及技) 作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組むことができる。(中1段階-Aイア㉔) (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫すること。(中1段階-Aイ(イ)㉔) (学・人) 挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	(知及技) 材料磨き、組み立て、ニス塗りなどの作業内容や手順を理解し、準備、片付けなどに取り組もうとしている。 (思判表力) 使用する道具の安全性について考えて使用しようとしている。作業では工具で材料を傷つけないように作業しようとしている。 (主学) 作業内容を理解し、活動しようとしている。報告、連絡、相談の場面などがわかりの場面などがわかり、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「ものづくり」 工具の使い方、注意事項、トレイ制作、道具の管理、作業場の清掃・片付け	・体験を通して、のこぎり、ハンマーの安全な使い方を知ることができるようにする。 ・道具の保管場所がわかり、自ら準備、片付けができるようにする。 ・トレイ製作を通して、作業手順を覚えることができるようにする。 ・自分で作業の仕上がりを確認し、作業状況を報告できるようにする。 ・作業で使用した場所の清掃、片付けができるようにする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	15	(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。(中1段階-Bア) (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。(中1段階-Bイ) (学・人) 他者の発表を聞いて、自分以外の様々な考えに気づくことができる。	(知及技) iPadやデスクトップパソコン等の情報機器の電源のオンオフや音量の調整などの基本的な使い方を理解して使用することができる。 (思・判・表) プレゼンテーションソフトなどを用いて、自信の体験や好きな物などを伝えることができる。 (主学) 他者の発表を聞いて、自分の意見との共通点や違いなどを見つけることができる。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「情報機器の活用」 iPadの基本操作についてキーボードの活用方法 デスクトップパソコンの基本操作とソフトの活用	・ iPadの基本操作を学び、実践する。 ・ デスクトップパソコンの基本操作を学び、実践する。 ・ 自分の考え、経験を発表する。 ・ 学習の振り返りに活用する。
	8	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力) 家庭にどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考えて行うことができる。 (学・人) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。(中1段階Aイ(ア))	(知・技) 自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 (学・人) 幼児の特徴について知ろうとしている。 (思・判・表) 家庭にはどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考え実践しようとしている。 (主学) 家庭生活、衣食住に興味を持っている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「家族・家庭生活」 ・ 自分の成長と家族 ・ 幼児の生活 ・ 家庭生活と役割	・ 自分の成長を振り返りかえる ・ 家庭生活の大切さ、家庭内の役割 ・ 働く意義や働く上で必要な力について ・ 幼児の特徴
	16	(知及技) 道具の名称や扱い方について知る。(中1段階Bウ(ア)) (思判表力) 基本的な衣服の取扱いについて体験し、実践することができる。(中1段階Bウ(ア)) (学・人) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとすることができる。(中1段階Bウ(ア))	(知・技) 簡単な裁縫技能などを身につけようとしている。 (思・判・表) 衣服の手入れの仕方を知り、基本的な衣服の取扱いについて実践しようとしている。 (主学) 場面に応じた衣服の選択や手入れの仕方を知り実践しようとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・ 衣生活(裁縫の基礎、衣服の手入れ、小物制作) ・ 日常着の着方	・ 裁縫道具の名前や針やミシン等道具の安全な使い方、基礎縫いに取り組む。 ・ アイロンかけ ・ 洗濯機を使ってみよう ・ TPOに応じた服装
3 学期	7	(知及技) 健康な生活と食事の役割について知る。(中1段階Bア(ア)) (思判表力) 適切な量の食事をとる大切さに気付く。(中1段階Bア(イ)) (学・人) 楽しく食事をとる大切さが分かり実践する態度を養う。(中1段階Bア(ア))	(知・技) 健康的な食事の役割について知ろうとしている。 (思・判・表) 適切な食事量を知ろうとしている。 (主学) 楽しく食事をとる大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・ 食事の役割 ・ 食事の役割 ・ 栄養について	・ 食事の役割 ・ 栄養を学ぼう ・ 野菜や果物を食べよう
	14	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できる。(中家庭1段) (知及技) 簡単な調理の手順について知る。(中1段階Bイ) (思判表力) 簡単な調理計画について考える。(中1段階Bイ) (学・人) 簡単な調理を実際に作る。(中1段階Bイ)	(知・技) 簡単な調理の方法を知り、手順に沿って日常食を作ろうとしている。 (知・技) 簡単な調理の手順を知ろうとしている。 (思・判・表) 簡単な調理計画について考えようとしている。 (主学) 簡単な調理を実際に作ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・ 食生活(調理の基礎、簡単な調理)	・ 調理室や調理器具の使い方 ・ レンジを使っての調理 ・ 日常食の簡単な調理 ・ 郷土料理
	6	(知及技) 買い物の仕方や必要なものの選び方について知ることができる。(中1段階Cイ) (思判表力) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとすることができる。(中段階A(ア)) (学・人) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとすることができる。(中1段階Cイ)	(知・技) いろいろなお店の種類について調べ、買い物の仕組みについて知ろうとしている。 (思・判・表) 上手な買い物をするために必要なことや注意点を知ろうとしている。 (主学) ごみの種類に気付き、正しく分別しようとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「消費生活・環境」 ・ 身近な消費生活(いろいろなお店、上手な買い物) ・ ごみの分別の仕方	・ 店の種類 ・ 買物の仕組みや必要な物の選び方 ・ ごみ分別の仕方
留意点 引継ぎ等		・ 年間を通して清掃活動を行う			

令和6年度 中学部 1～3年(Ⅱ課程A②) 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1～3学年		職業・家庭 楽しい職業科 楽しい家庭科 わたしの夢につながる

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年 (職業)		(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aイ)	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について	・作業を意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。
1 学期	9	(知及技) 自立と職業の大切さについて知ることができる。(中1段階-Aア(ア)) (思・判・表) 仕事の種類、様子、必要な技術について知ることができる。(中1段階-Cア) (学・人) これまでの経験や学習したことから将来の職業について考えることができる。(中1段階-ウ)	(知及技) 身の回りのことなど自分で生活するために必要な力について知り、身につけようとしている。 (思・判・表) 職場見学を通して仕事内容や様子について知り、必要な技術について考えようとしている。 (主学) 学習して知った職種やこれまでの経験から将来の職業について考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「自分の将来を考えよう」 子どもから大人になるとは自分の将来について考える 「自立と職業の大切さ」 自立するため、仕事をするために必要な力について。	・教科書を参考に自分でできること、助けてもらってできることについて考える。 ・働くのに必要な力をはなにかを考えて、授業内で実践してみる。
	15	(知及技) 作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組むことができる。(中1段階-Aイア㉕) (思判表力) 自分の体調を確認することができる。体調や天気に合わせて服装を調整することができる。(中1段階-Aイ(イ)㉕) (学・人) 挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	(知及技) 土づくり、移植、灌水などの作業内容や手順を理解し、準備、片付けなどに取り組もうとしている。 (思判表力) 自分の体調を口答や行動で伝えようとしている。帽子や上着の着脱で体調管理をしている。作業の合間などこまめに水分補給をしている。体調や天候に応じて帽子や上着の着脱をしている。 (主学) 作業内容を理解し、活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「生物育成」 土作り、移植、定植、灌水、施肥、除草、収穫、作業場の清掃・片付け	・土作り： unnecessaryな物は取り除き、細かくすることができる。 ・移植・定植： 傷つけないように適切な場所に植え付けができるようにする。 ・灌水、施肥： 適切な場所に適切な量を散布できるようにする。 ・収穫： 収穫に適した大きさなどを見極めることができる。傷つけないように収穫することができる。 ・収穫した野菜を家族に届けることで、達成感を得られるようにする。 ・自主的に作業場の清掃、片付けができるようにする。
	15	(知及技) 作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組むことができる。(中1段階-Aイア㉕) (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫すること。(中1段階-Aイ(イ)㉕) (学・人) 挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	(知及技) 材料磨き、組み立て、ニス塗りなどの作業内容や手順を理解し、準備、片付けなどに取り組もうとしている。 (思判表力) 使用する道具の安全性について考えて使用しようとしている。作業では工具で材料を傷つけないように作業しようとしている。 (主学) 作業内容を理解し、活動しようとしている。報告、連絡、相談の場面などがわかり、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「ものづくり」 工具の使い方、注意事項、トレイ制作、道具の管理、作業場の清掃・片付け	・体験を通して、のこぎり、ハンマーの安全な使い方を知ることができるようにする。 ・道具の保管場所がわかり、自ら準備、片付けができるようにする。 ・トレイ製作を通して、作業手順を覚えることができるようにする。 ・自分で作業の仕上がりを確認し、作業状況を報告できるようにする。 ・作業で使用した場所の清掃、片付けができるようにする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	15	(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。(中1段階-Bア) (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。(中1段階-Bイ) (学・人) 他者の発表を聞いて、自分以外の様々な考えに気づくことができる。	(知及技) iPad等の情報機器の電源のオンオフや音量の調整などの基本的な使い方を理解して使用することができる。 (思・判・表) プレゼンテーションソフトなどを用いて、自信の体験や好きな物などを伝えることができる。 (主学) 他者の発表を聞いて、自分の意見との共通点や違いなどを見つけてることができる。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「情報機器の活用」 iPadの基本操作についてキーボードの活用方法	・ iPadの基本操作を学び、実践する。 ・ 自分の考え、経験を発表する。 ・ 学習の振り返りに活用する。
	8	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力) 家庭にどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考えて行うことができる。 (学・人) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。(中1段階Aイ(ア))	(知・技) 自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 (思・判・表) 幼児の特徴について知ろうとしている。 (思・判・表) 家にはどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考え実践しようとしている。 (主学) 家庭生活、衣食住に興味を持っている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「家族・家庭生活」 ・ 自分の成長と家族 ・ 幼児の生活 ・ 家庭生活と役割	・ 自分の成長を振り返りかえる ・ 家庭生活の大切さ、家庭内の役割 ・ 働く意義や働く上で必要な力について ・ 幼児の特徴
	16	(知及技) 道具の名称や扱い方について知る。(中1段階Bウ(ア)) (思判表力) 基本的な衣服の取扱いについて体験し、実践することができる。(中1段階Bウ(ア)) (学・人) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとすることができる。(中1段階Bウ(ア))	(知・技) 簡単な裁縫技能などを身につけようとしている。 (思・判・表) 衣服の手入れの仕方を知り、基本的な衣服の取扱いについて実践しようとしている。 (主学) 場面に応じた衣服の選択や手入れの仕方を知り実践しようとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・ 衣生活(裁縫の基礎、衣服の手入れ、小物制作) ・ 日常着の着方	・ 裁縫道具の名前や針やミシン等道具の安全な使い方、基礎縫いに取り組む。 ・ アイロンがけ ・ 洗濯機を使ってみよう ・ TPOに応じた服装
3 学期	7	(知及技) 健康な生活と食事の役割について知る。(中1段階Bア(ア)) (思判表力) 適切な量の食事をとる大切さに気付く。(中1段階Bア(イ)) (学・人) 楽しく食事をとる大切さが分かり実践する態度を養う。(中1段階Bア(ア))	(知・技) 健康的な食事の役割について知ろうとしている。 (思・判・表) 適切な食事量を知ろうとしている。 (主学) 楽しく食事をとる大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・ 食事の役割 ・ 食事の役割 ・ 栄養について	・ 食事の役割 ・ 栄養を学ぼう ・ 野菜や果物を食べよう
	14	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できる。(中家庭1段(知及技) 簡単な調理の手順について知る。(中1段階Bイ) (思判表力) 簡単な調理計画について考える。(中1段階Bイ) (学・人) 簡単な調理を実際に作る。(中1段階Bイ)	(知・技) 簡単な調理の方法を知り、手順に沿って日常食を作ろうとしている。 (知・技) 簡単な調理の手順を知ろうとしている。 (思・判・表) 簡単な調理計画について考えようとしている。 (主学) 簡単な調理を実際に作ろうとしている。 【評価基準】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・ 食生活(調理の基礎、簡単な調理)	・ 調理室や調理器具の使い方 ・ レンジを使った調理 ・ 日常食の簡単な調理 ・ 郷土料理
	6	(知及技) 買い物の仕方や必要なものの選び方について知ることができる。(中1段階Cア) (思判表力) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとするることができる。(中段階Cア(ア)) (学・人) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとするることができる。(中1段階Cイ)	(知・技) いろいろなお店の種類について調べ、買い物の仕組みについて知ろうとしている。 (思・判・表) 上手な買い物をするために必要なことや注意点を知らうとしている。 (主学) ごみの種類に気付き、正しく分別しようとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「消費生活・環境」 ・ 身近な消費生活(いろいろなお店、上手な買い物) ・ ごみの分別の仕方	・ 店の種類 ・ 買物の仕組みや必要な物の選び方 ・ ごみ分別の仕方
留意点 引継ぎ等		・ 年間を通して清掃活動を行う			

令和6年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B①） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1～3学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aアイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aアイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-B工(ア))	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・廊下、教室のほうき、フローリングワイパー、台拭きなどの清掃や整理整頓を実践する。
留意点 引継ぎ等	・年間を通して清掃活動を行う				

令和6年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B②） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1～3学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aアイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aアイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-B工(ア))	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・廊下、教室のほうき、フローリングワイパー、台拭きなどの清掃や整理整頓を実践する。
留意点 引継ぎ等		・年間を通して清掃活動を行う			